

# 九九名人

和歌山・小田富生

## はじめに

九九の練習マシン「九九名人」です。

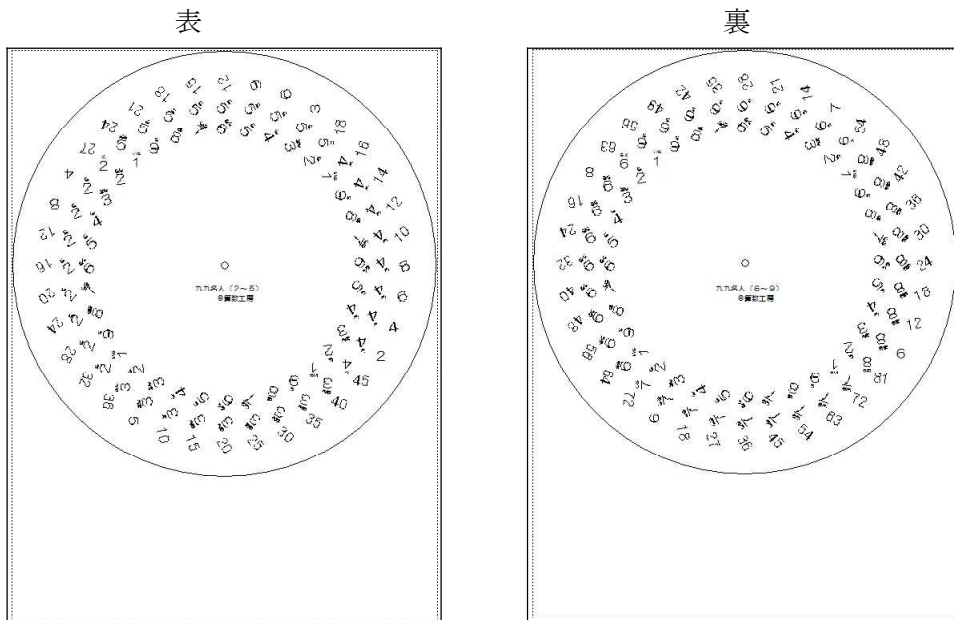
以前から、九九の練習教具を作りたいと考えていました。候補の仕組みがいくつかあるのですが、今回は、円板回転式で作ってみました。「2～5の段」と「6～9の段」を表裏にしています。円板を右に回せば昇順（ $6 \times 1$   $6 \times 2$ 、…）、左に回せば降順（ $6 \times 9$   $6 \times 8$ 、…）に式が表示されます。式に唱え方を書いています。（「が」は書いていません）

もう一つ円板の型紙を作っています。「スイスイ」と「チャレンジ」の表裏です。「スイスイ」は正答率が高い36個、「チャレンジ」は低い36個をランダムに配置しています。（※ベネッセ 2007、2013 小学生の計算力に関する実態調査を参考に選択しました。）  
いかがでしょうか。



## 作り方

①円板（2～5）と（6～9）を表裏に印刷して、ラミネートする。（※裏写りしない程度の厚さのA4紙に印刷。）



②円カッターかハサミで円板に切り、中心に直径4 mmの穴をあける。

（穴あけポンチが便利。ダイソーやホームセンターに売っています。下敷きには、カッターマットの裏を使うと良いでしょう。）

③表裏カバーを少し厚手の紙（A3）に拡大印刷（142%）する。

（私は、コクヨ厚紙用紙LBP-F33を愛用。）

④中心の直径4mmの穴を2個あける。

⑤式と答の窓を切り抜く。（6個）

（※○窓の表裏カバーの型紙も用意しています。  
そちらを使う場合は、直径1cmのパンチで  
穴をあける。）

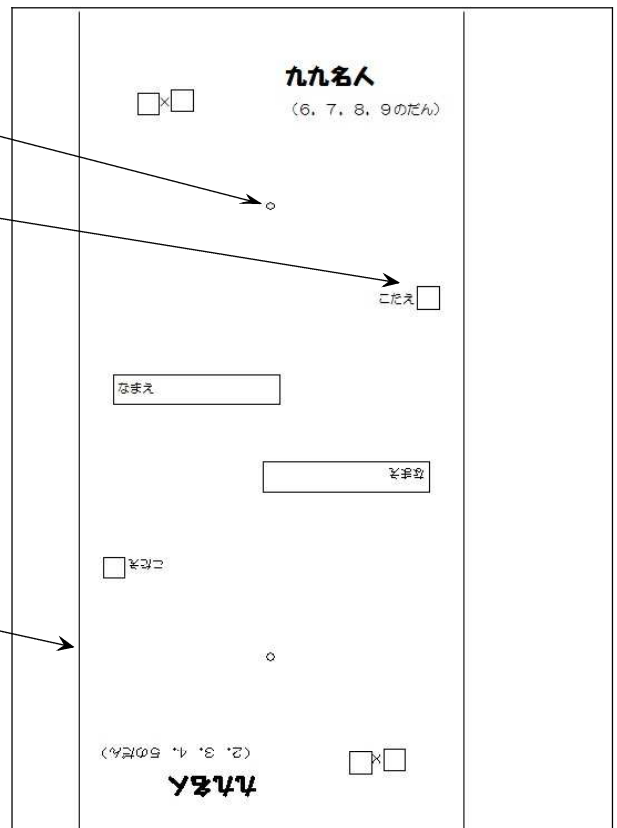
⑥中心の穴が重なるように2つ折りにする。

⑦両端を切り落とす。

⑧円板を挟んで中心を留め具（トジック）で留める。

⑨4つの角を「かどまる」（コーナーパーチ）で丸く  
すると少しオシャレに。

（※最近では、100均にもあるようです。）



これで完成！

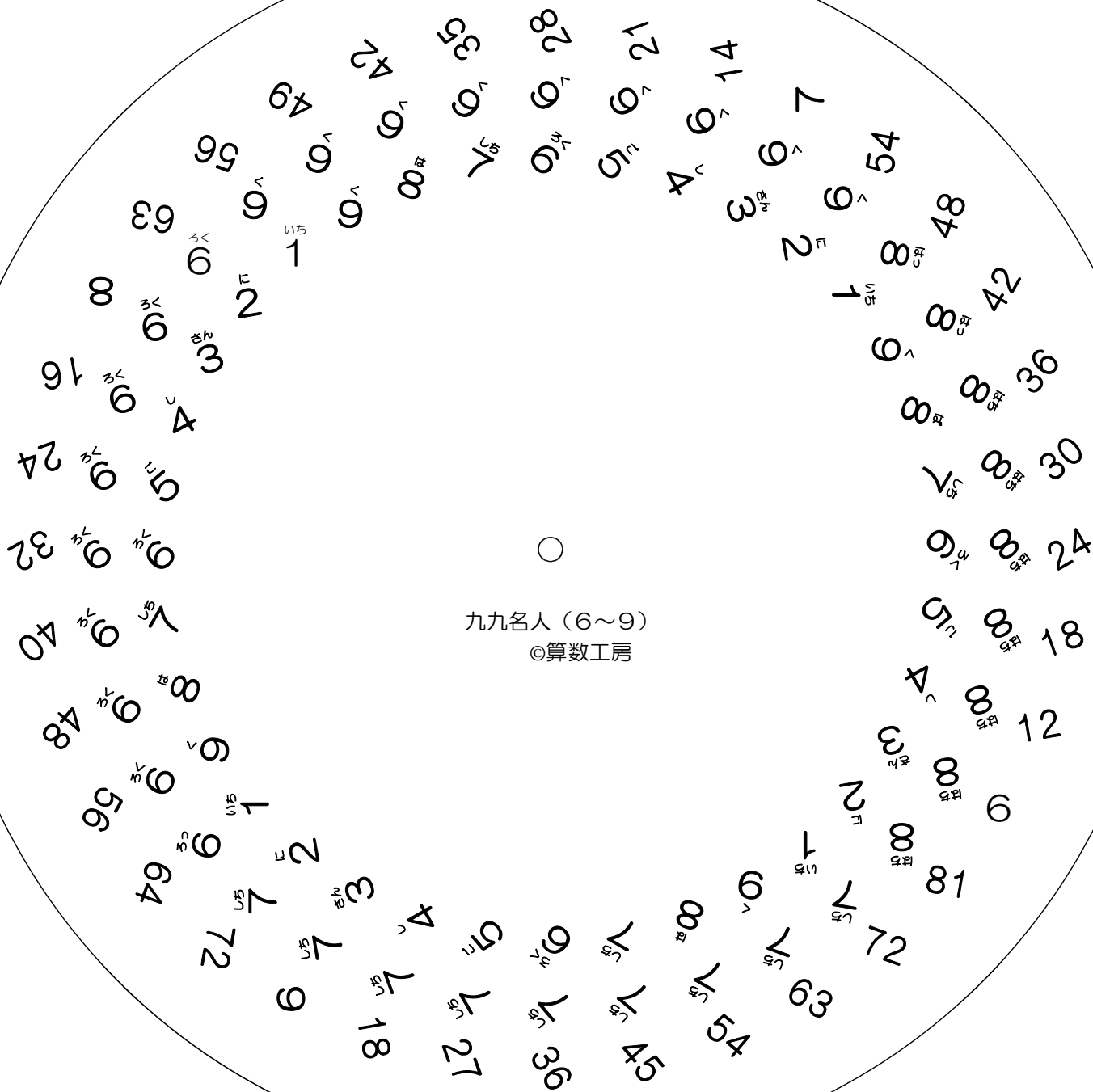
## 留め具について

メイワパーツ (<http://www.meiwa-sng.com/>) →POPパーツ→プラネジ→には、いろんな種類の留め具が載っています。「プラネジ」「プッシュ鉈」「ホック鉈」「トジック」など、回転軸の用途（太さ、長さ）にあわせて使えそうです。留め具より送料の方が高つくのですが、少量販売とネコポス（300円）対応なので購入しやすいです。他には、ハトメ、割りピンも使えますが、今回はトジックがおすすめです。

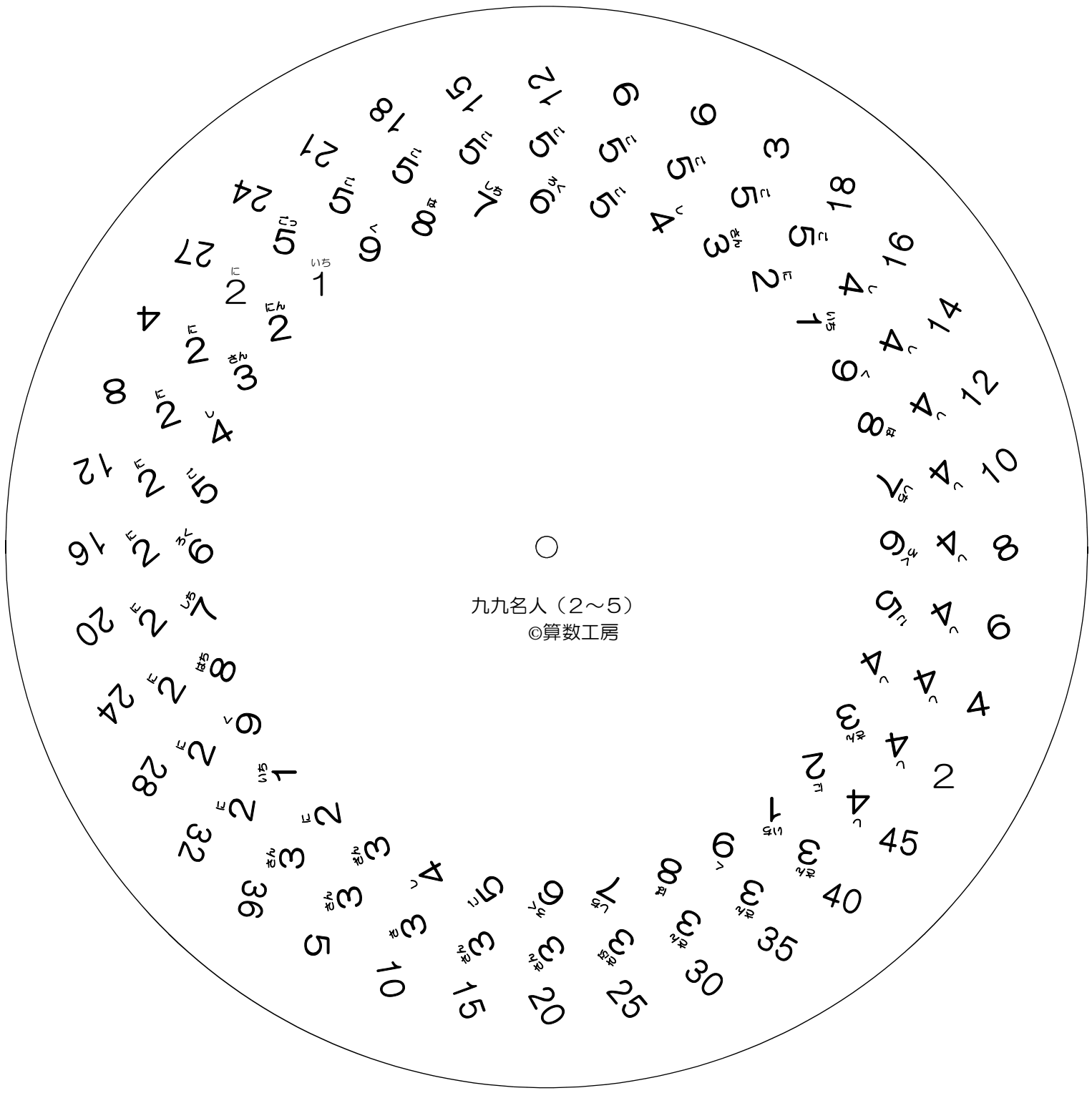


（メイワパーツHPより）

九九名人 (6~9)  
©算数工房



九九名人 (2~5)  
©算数工房



# 九九名人

(6, 7, 8, 9のたん)

$\square \times \square$

○

こたえ

なまえ

なまえ

こたえ

○

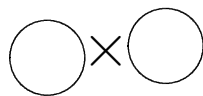
(2, 3, 4, 5のたん)

# 九九名人

$\square \times \square$

# 九九名人

(6, 7, 8, 9のだん)



○

こたえ ○

なまえ

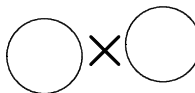
なまえ

○ こたえ

○

(2, 3, 4, 5のだん)

# 九九名人









# 九九名人

(チャレンジ)

$\square \times \square$

○

こたえ

なまえ

なまえ

こたえ

○

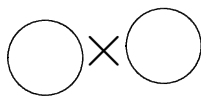
(アイト)

# 九九名人

$\square \times \square$

# 九九名人

(チャレンジ)



こたえ ○

なまえ

なまえ

こたえ ○



(7171)

九九名人

